

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域文化のまちづくり事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	まちづくりや伝統文化の継承等に携わる市民団体	意図	地域を活性化するまちづくりを推進するため。
事業内容	各種団体と協働して地域を活性化する文化活動を実施する。大しめ縄行事・デンガラ餅行事・おびしゃ行事で各保存団体をサポートし、協働している。近藤勇忌・利根運河まつり・一茶双樹まつりなどを、流山歴史文化研究会・グリーンダイナミクス・博物館友の会などと協働する。			
事業開始から現在までの状況変化	市施設の指定管理を担う団体等とも協働する傾向になってきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	協働した行事の数	6	6	8	件	
②	協働した団体の数	6	6	8	件		
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

協働団体

- ・茶道親和会
- ・尚古会
- ・流山歴史文化研究会
- ・グリーンダイナミクス
- ・（一社）日本糺文化協会
- ・昔のあそびを遊ぼう会
- ・アクティオ
- ・スバル

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	団体間の公平性を保ちつつ、協働団体との永続的な協力関係を構築する。	③取組における課題(Check)	協働事業の方向性の検討。
②H30に実施した取組(Do)	新たな団体と協働し、行事数も増加した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	協働の必要性の検討。事業内容の精査。